

平成27年2月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

◎ 代表質問

いばら月曜会

11番 西田久志

1. 平成27年度当初予算について

- 1) 平成27年度当初予算の特徴について伺います。
- 2) 不登校・いじめ対策として、登校や学習、相談支援を行う登校支援員の配置を行い、適応指導教室との連携や小学校不登校対策実践研究事業に取り組むとありますが、具体的にどのように展開されるのか伺います。
- 3) 健康寿命日本一を目指し、訪問型の「おせっかい保健師健康相談事業」「健康カフェ」、また、「メタボレンジャー笑ってチャレンジカップ」を実施していくことですが、昨年の9月議会で、具体的な事業内容については検討中とありましたが、どのような事業内容か伺います。
- 4) 大江放課後児童クラブなどの施設整備を行うとありますが、具体的にはどのようなものか伺います。
- 5) 新規栽培作物の普及を図るため、薬用作物（芍薬）の産地化を支援するとありますが、現状とこれからの取り組みについて伺います。
- 6) 平成26年度で地場産業振興センターの2階を改修し、新たに「元気いばら創生戦略本部」を創設し、さらに、都市部での井原市の売り込みを行う「元気いばらセールスマン事業」によりどのような効果を期待されているか伺います。

◎ 個人質問

4番 柳井一徳

1. 特殊詐欺事件や児童への傷害事件の防犯対策について

最近多発している特殊詐欺事件や児童を狙った傷害事件に対して、岡山県警や県は講習会を開いたり、いろいろな媒体を利用して注意喚起を行っています。県警は平成27年度から、子どもの見守り活動の強化に向けて、地域住民が青色回転灯装備車（青パト）で巡回する『青色防犯パトロール実施団体』の結成を1小学校区に1団体目指す方針を固められ、また、県では、防犯カメラの増設も予算要求されているようです。

さらなる警戒に向けて県や県警のこのような防犯対策を本市としてどのように受け止めておられますか。市長の見解を伺います。

8番 藤原浩司

1. 上水・簡易水道事業等全般について

1) ソフト統合の進捗状況と水道管の採用状況等について3点伺う。

①平成28年度を目標に、1市1企業のソフト統合を目指す中、井原、芳井、美星地区の水道事業の進捗について伺う。

②平成23年2月定例会で市長答弁があった耐震性能を有した管を採用した工事の実績について伺う。

③平成23年2月定例会で市長答弁があったポリエチレン管の使用検討の進捗について伺う。

2) 水質検査と突発修繕時の対応・現状等について3点伺う。

①水道事業全般の水質検査等について伺う。

②突発修繕時の水質検査について伺う。

③突発修繕の現在の対応、今後の対応について伺う。

3) 水道事業に係る職員及び技術員の後継者作りについて伺う。

2番 河合謙治

1. 鳥インフルエンザに対する対応について

①本年1月15日の笠岡市での発生から、今日に至るまでの経緯についてお伺いします。

②発生直後の市民の対応策についてお伺いします。

③移動制限解除後（2月14日）から、約3ヶ月後の対策解除までの市民の対応策についてお伺いします。

2. 少花粉スギの植樹について

井原市でも少花粉スギの苗木の普及推進、また、啓発活動をするお考えはないかお伺いします。

3番 荒木謙二

1. 地域創生戦略顧問の配置について

平成27年度予算の地域創生・定住促進の事業の中に「地域創生戦略顧問の配置」とされていますが、その目的について、また、どのような期待をされているのか伺います。

2. プレミアム付商品券発行事業について

国の平成26年度補正予算措置である「地域住民生活等緊急支援のための交付金」事業によるプレミアム付商品券発行事業の内容について伺います。

1. 消防施設整備について

- 1) 井原市消防施設整備基準について、小型動力ポンプ及び小型動力ポンプ積載車の整備基準は現在どのようになっているのか。また、更新時には地元消防団と協議をしているのか伺う。
- 2) 安全・安心を確保しながら消防団活動をするためには、現在の整備基準を見直す必要があると考えるが、市の見解を伺う。

2. 学校施設について

- 1) 現在、井原市では、共和小学校、明治小学校、川相小学校の3校が休校中であるが、この3校の現在の起債残高はいくらか。また、この3校の施設の跡地利用をどのように考えているのか伺う。
- 2) 小規模校といわれる学校は何を基準に判断するのか。現在、市内には小学校が13校あるが、それに該当する学校があるのか。あれば今後、統廃合に向けての調査研究を行う考えがあるのか伺う。

1. 元気いばら創生戦略本部の設置について

地方創生の受け皿として来年度から発足する元気いばら創生戦略本部について伺います。

- ①地場産業振興センター内に設置される経緯について
- ②組織体制と業務内容について
- ③展開する事業内容について

2. 地域資源を活かした広域交流拠点施設の整備について

地域ブランドの推進や地域特産品の地産地消及び観光振興の強化策として、異業種の運営による広域交流拠点施設を、市南部の幹線道路沿いに整備してはどうか、本市の考えを伺います。

16番 佐藤 豊

1. 国の平成26年度補正予算への対応について

地域住民生活等緊急支援のための交付金4,200億円が地方公共団体に交付され、地方の緊急経済対策に活用されることが求められています。対象事業として、地方版総合戦略策定や地域仕事支援事業等の地方創生先行型に1,700億円、プレミアム付商品券や低所得者向け商品・サービス購入券等の地域消費喚起・生活支援型に2,500億円となっています。本市では、平成27年度の対応となると思いますが、事業としてどのような取り組みをお考えか伺います。

2. 空家等対策の推進に関する特別措置法に対する本市の対応について

空き家の増加が全国的な社会問題となる中で、多くの自治体では物件情報を提供し、利活用を促す「空き家バンク」制度の導入や持ち主に適正管理を促すための条例を施行していましたが、平成26年11月19日に空家等対策の推進に関する特別措置法が成立し、市町村に国の基本指針に即した空家等対策計画策定等が求められることになりました。そこで、本市としての対応について伺います。

3. 国民健康保険健康推進奨励金について

国民健康保険健康推進奨励金は、総社市が全国初の取り組みとして平成25年から実施しています。奨励金の対象は、第1に、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間、国民健康保険の被保険者が保険診療を全く受けなかった世帯。第2に、前記の期間において、40歳以上の被保険者（特定健康診査の対象者）が世帯にいる場合は、対象者全員が特定健康診査を受けている世帯。第3に、国民健康保険税を完納している世帯となっており、その要件をクリアした世帯に奨励金1万円を支給する事業です。本市でも、平成29年度までに、特定健康診査受診率と特定保健指導終了率の達成目標60%を目指して着実に取り組まれて

いることは承知していますが、目標達成と市民の健康と医療費の削減を考える時、総社市の事例は受診率向上への動機付けとなる取り組みであると思いますが、本市での事業化についての考えを伺います。

7番 坊野 公 治

1. 井原クリーンセンターの受け入れの拡大について

現在、春のクリーンキャンペーン期間と、夏の学校の奉仕作業に合わせて休日に井原クリーンセンターの受け入れが行われている。秋に清掃活動をされる地区や学校もあると聞く。そこで秋の清掃活動の時期に井原クリーンセンターの受け入れの拡大を実施してはどうか伺う。

2. 井原市の特徴を生かした企業誘致について

井原市の特徴（強み）として、水の豊富さ、災害の少なさなどが挙げられると考える。そこでその豊富な水を売りにして、飲料メーカーなど水を必要とする企業に対して企業誘致を行ってはどうか伺う。

20番 森 本 典 夫

1. 井原市民病院に勤務する意志のある医大生等に対する修学資金貸与制度の創設について

笠岡市民病院では来月から医大生等に対する修学資金貸与制度を始めることが新聞報道されていました。

私は、平成18年12月議会と平成23年9月議会でこのような制度の創設を提言いたしました。この時のお答えは結論だけ言いますと「現時点ではご提言として承っておきたい。他市の状況等を調査研究してまいりたい。」とのことでした。

医師確保が困難な状況が長期にわたっている状況下で、意欲ある人材の確保のため、長期展望に立ちこのような制度の創設を考えるべきだと思います。今回で3度目の提言ですが、再度お考えをお伺いします。

2. 井原市民病院に診療費支払機の設置と身体障がい者用駐車場所の増設について
市民病院に次の施策を講じていただけないか伺います。

①診療費支払機を設置し、待ち時間の短縮と支払方法の簡素化、あわせて会計窓口の負担軽減を目指すこと。

②現在、身体障がい者用駐車場所が3台分ありますが、通院している障がいのある患者さんから「3台の場所が満車のことが多く駐車時困ることがよくある」とのことから、ぜひ利便性のいい場所に何台分かを増設すること。

3. 介護保険の介護予防の訪問介護と通所介護が市に移行されることに伴う対応について

介護保険の介護保険予防給付のうち介護予防訪問介護と介護予防通所介護が市に移行され、新年度から市が対応することになります。

そうした中で、施策の後退を招くことにならないか大変危惧しています。現時点で後退をさせない施策をどう講じようとしているのか伺います。

4. 教師業務アシスタント（学校校務員）の配置について

私は、平成9年3月議会と平成13年3月議会の2回、教員が本来の仕事に専念できるようにするための手だてとして「学校校務員」の配置をとの提言をいたしました。また、同僚議員も何度か提言しています。

この時の回答は結論だけを申しますと「今後とも現状の方向で対応をしてまいりたいというふうに考えております。」というものでした。

このたび県教委の方針として、学校現場での教員の多忙感を軽減するため、「教師業務アシスタント」を県下26市町村でモデル校を1校ずつ指定して配置するとし、新年度予算にも計上されています。

本市として県教委の方針をどう受け止めておられるのか。また、これを機会に井原市としても市内全校に「学校校務員」の配置をする考えはないか伺います。

5. 文部科学省が策定した公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引についての教育委員会の考え方について

文部科学省が、公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引をまとめ自治体に通知しました。

この「手引」には、小学校で6学級以下、中学校で3学級以下の学校について統廃合の適否を「速やかに検討する必要がある」としています。また通学などについても条件が示されています。

これらの「手引」について市教委としては、現時点でどう考えているのか、基本的な考えをお伺いします。

6. 市管理の公園遊具の安全点検について

1月22日に倉敷市内の亀島第4公園の「あずまや」が突然倒壊したという新聞報道がありました。

井原市内の公園の遊具や施設は安全で安心して遊べる状況かどうか。また、安全性の点検はどういう方法で行い、どの位の間隔で実施しているのか伺います。

また、倉敷のような事故があったこともあり、すべての公園の遊具や施設の総点検を一斉に実施すべきではないかと思いますが、お考えを伺います。

14番 大 鳴 二 郎

1. 公共施設の現状と課題及び今後の取り組みについて

①公共施設（建物）の種類ごとの数と面積及び施設の維持管理に要した費用は年間いくらか伺う。

②公共施設（建物）の維持管理の現状と問題点及び老朽化対策について伺う。

③効率的・効果的なマネジメントを可能とする組織・体制の整備について伺う。

④平成27年度から公共施設の総合的な管理を検討するとあるが、その内容と今後の公共施設のあり方について伺う。

1. 病後児保育の現状と今後の取り組みについて

①今年度からスタートしている病後児保育の内容と利用状況について伺う。

②病後児保育に対する保護者のニーズと今後の取り組み方針について伺う。

2. 「井原市スポーツ推進計画」の進捗状況について

井原市では、平成26年3月に、平成26年度から平成29年度を計画期間とする「井原市スポーツ推進計画」を策定された。

その初年度にあたる平成26年度の本計画に基づく取り組み状況と、この1年間の取り組みの検証結果を伺う。

1. 地域包括ケアシステムの構築について

「平成26年版高齢社会白書」によると2060年には、2.5人に1人が65歳以上になる、と言われている。

これから先、井原市においても高齢化が加速度を増すであろうと懸念している。

井原市においては、本年3月に第6期の「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者にかかわる福祉施策に引き続き取り組んでいくことにしている。

計画を進めていくうえで地域包括支援センターを核とした地域包括ケアシステムの構築は欠かせない。そこで以下5点について伺う。

①「地域ケア会議」の充実をどのように図られるのか。

②在宅医療・介護連携をどのように推進されるのか。

③認知症対策をどのように展開されるのか。

④生活支援サービスをどのように充実させていくのか。

⑤上記①～④を進めていくための人材の確保及び育成をどのように考えているのか。

2. 「井原市災害時要援護者避難支援プラン」における「個別計画」策定の進捗状況について

平成23年3月に策定された「井原市災害時要援護者避難支援プラン」の中で対象者リスト作成の後、「個別計画」策定に取り組むとされている。

「個別計画」の策定はどこまで進んでいるのか伺う。

1 番 西 村 慎次郎

1. 公共交通について

1) 2014年9月に決定・10月に運用開始した「公共交通の運行見直し基準」について伺う。

①運行見直し基準の具体的な基準内容

②路線バス、井原あいあいバス、予約型乗合タクシーにおいて、「運行見直し基準」に該当する路線

2) 井原市予約型乗合タクシーについて伺う。

①エリア毎の利用状況（1便当たりの利用者数、運行回数）の推移

②利用状況からうかがえる課題とその対応策